ぎふ専研［岐阜商工会議所専門家研究会］
当研究会は岐阜商工会議所に登録している各専門家25名が研鑽を重ね、企業や事業支援の実践に役立てることを目的としています。
主な活動は、企業経営に関する法律、税務、財務、販売、事業承継、ITなどの事例を通して各専門分野からの意見や提言を行い、企業最適化を図ることです。

【戦国の歴史に学ぶ】

「楽市楽座」に見る経営のヒント

中小企業診断士・税理士
高橋和宏

一、この市には、どこの国の人も参加してよい。
一、この市に住めば、他国での借金や労役を免除する。
一、この市では、営業税は課さない。通行税も免除し往来は自由とする。
一、ただ、この市で押買や狼藉、喧嘩、口論をすることは禁ずる。
一、市の運営には、この信長が許可しない権力が介入することは許さない。

1 「楽市楽座」とは

「楽」は自由、「市」は市場、商売という意味で、「楽市」は自由に商売をしてよいということです。

また、「座」は寺社や公家、宮家に「座銭」を払って権利を買って商売をしていた組織のことで、いわゆる独占的特権組織です。「楽座」はそのような組織に属さなくてもよいということです。

まとめると「楽市楽座」は、誰でもが自由に商売が出来る（場所）という意味になります。

2 信長の「楽市楽座」

信長は岐阜城入城後まもなく、岐阜城下に楽市楽座の布告を出しました。それは次のような内容でした。

信長は、この商業政策を通して公家や寺社から権力を奪い取り、武家を中心とした構図で天下統一を進めようとしました。

3 「経営のヒント」（内と外2つの視点から）

1.内の視点（株式会社信長の組織活性化）

信長は、商業政策として「楽市楽座」を行ないましたが、これを「株式会社信長」として、信長をトップ、楽市に集まる商人を会社の従業員として見てみましょう。

今までは、特別な縁故者や古株だけが評価されて良い思いをしていた所に、新社長が他の社員に「今度は君がやってみるか？」「新しい考えで自由にやってみなさい！」と号令をかけ、また、「あなたの能力が十分発揮できますよ！是非来てください。」と採用を始めたとたとえることができます。

環境整備と権限委譲

人は、いくら尻をたたいてもやる気を出したり、力を発揮したりするわけではありません。ましてや、人が人を成長させる事など、そう簡単にできるものではありません。

必要なのは、力を発揮できる環境を作ることです。その上で能力のある人には十分な裁量を与えて挑戦させることです。いわゆる権限委譲です。

この時に忘れていけないのは、①方針・目標を明確にすること ②枠組み（裁量の範囲）を決めること ③禁止事項を明確にすることです。

信長も楽市楽座の布告の中で「この市で押買や狼藉、喧嘩、口論をすることは禁ずる。」とはっきりと禁止事項を定めています。

信長は、城下の商人にこのような環境を与え、岐阜を人と物が集まる賑わいのある町にしました。宣教師のルイス・フロイスは、「岐阜には諸国の商人が商品を馬に載せて集まってくる。岐阜の町は人馬の雑踏でいつもやかましく、にぎやかだ。」と繁栄ぶりを伝えています。

2外の視点（現代に通じる規制緩和）

「楽市楽座」は当時の人々にとって大きな外部環境の変化でした。

座という規制がなくなり、商売の自由が増したのは、現代の規制緩和そのものです。

当時は「楽市楽座」に加え、関所の撤廃、街道の整備などによって、地方の住人も城下町へ行って必要な物を手に入れることができるようになりました。農具なども発達し生産性があがり、その為物価も安くなり商品の流通がより促進されました。（※1）

4 規制緩和の影響

現代では規制緩和は、電気通信、金融、タクシー、電力、酒類免許、労働者派遣、医薬品販売、農業など様々な業界で進められています。

これら規制緩和は中小企業に次の様な影響を及ぼしています。

1.新規参入のチャンス

信長の時代と同様、既得権に守られていた事業者には厳しい環境となりますが、それ以外の事業者には千載一遇のチャンスとなります。

2.競争の発生

経済活動の自由さが増し、参入者が増加すると競争が発生します。そして競争は価格の下落につながります。この面では消費者にとってはメリットとなりますが事業者には厳しくなります。

3.新商品・新サービスの出現

規制緩和は新しいビジネスが生まれる土壌となります。消費者のニーズや時代の要請を的確に捉えた新ビジネスの創造は大きなビジネスチャンスとなります。

このように、規制緩和は、競争が激化するデメリットの面と、実力のある企業には自由に力を発揮できるメリットの面とがあります。

いずれにしても、経営者は、信長のように常に時代の先を見据えて、革新的な考えを持って経営の舵を取っていくことが大切だと思います。

＊史実は諸説があります。本文とは異なる説もありますのでご了承ください。
（※1）参考：笹本正治氏「日本の中世3　異郷を結ぶ商人と職人」

中小企業診断士・税理士
高橋和宏 氏
●プロフィール
（タカハシ　カズヒロ）
税理士法人グッドパートナーズ
会計事務所　代表
（税務に関する業務とともに、中小企業の成長、再生の支援を行っています。）